

今号のお題

雨の日でも大丈夫なストリングと夏の屋外でプレーする際の設定は？

ストリングの

From
テニサーポ

第39回

基礎知識

知っているようで、あまり知られていないストリングのこと。このコーナーでは、読者から寄せられた素朴な疑問を、プロのストリンガーに答えてもらいました。皆さんのテニスライフ向上に役立ててください

今回の解説は...

小笠原爽太(テニスサポートセンター仙川店)

ストリンガー歴、店舗では7年、自宅で張っていた時期を合わせたら13年。現在は大前綾希子選手など、複数のプロ選手の張りを担当する



濡れた後はケアを忘れずに

基本的にナチュラルガットは湿気や水分をすぐに吸収してしまうので、雨の日やコートやボールが湿っていると、本来あるナチュラルガットの性能がすぐに失われてしまいます。また、ナイロンもナチュラルほどではないですが、雨の日に使用すれば水分を吸収してしまいます。

Q ナチュラルガット以外なら、雨の日にプレーしても大丈夫ですか？

(テニス歴5年 / 50歳代男性)

水分を吸収しないポリエステルにすれば、影響は最も少なくなりませんが、普段ナイロンを使っている人が雨の日だけ、打感が硬くなるポリを使うのは、ボールが雨で重くなることを考えても、腕への負担が大きくなるので、お勧めできません。それよりも雨の日に使用した後は、そのままにせず、ストリングの処理をしっかりすることが大切です。まず、タオルなどでストリングやフレームに残った水滴を拭き取りましょう。そうすれば、ストリングの性能をある程度は保たせることができるでしょう。とはいえ雨の日に長い時間プレーをすれば、ストリングの寿命は普段よりも短くなります。ボールの飛びに違和感があつたら、早めの張り替えをお願いします。



ストリングが雨で濡れた場合は、タオルなどを使って水分を拭き取ること。このひと手間ですトリの性能が変わってくる

ストリング 都市伝説

張り替えるマシンによって仕上がりは変わるのか？

変わります。仕上がりの差が出る場所は、ストリングを引っ張る部分と、マシンに変圧器が搭載されているかどうかです。引っ張る部分は回転する部分にストリングを巻き付けて引くドラム式か、ドラム式でないかで変わります。ドラム式だと安定したテンションを出すのが難しいので、専門のショップで採用されることは少ないです。また変圧器が搭載されていないと、電気を多く使用する時期(冷房や暖房など)は、一時的に電圧が下がってしまうため、指定したテンションが出せないこともあります。



写真のようなプロが使用するマシンは、ハイテク機能が搭載され正確な張り上げりを実現してくれる

Q 夏、屋外でプレーする際に注意すべきストリングの設定があつたら教えてください。

(テニス歴2年 / 部活中学生)

気温や湿度に応じて変えよう

夏に屋外でプレーをする人がストリングを張り替える場合、一番に注意すべき点はテンションです。夏は気温が高くなるので、ボールのゴムも柔らかくなり、ボールが飛ぶようになります。さらに気温が高い空間にラケットを置いておくと、ストリングの素材自体も伸びます。だからテンションは、普段よりも2〜3ポンド上げるといいでしょう。また、ポリエステルよりもナイロンの方が伸びやすいので、気温の影響

響を大きく受けることになります。ストリングの種類を変える時には、注意してください。日本では春夏秋冬があります。季節の変化によって気温や湿度が大きく変わりますので、ストリングが切れなくても、3カ月の季節ごとに張り替えることをお勧めします。



同じラケットに同じストリングを張っても季節に応じてテンションは変えよう(写真上は3月時に48ポンドだが、6月は50ポンドに下げている)

募集中

ストリングに関する質問を募集しています。年齢、性別、テニス歴を記入し、〒113-8448 東京都文京区本郷2-33-5 日本スポーツ企画出版社スマッシュ編集部「ストリング基礎知識」まで。質問が採用された方には、テニスサポートセンターより、ストリングをプレゼントします。